



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 7月号
平成30年6月30日 発行
発行責任者：野田 豊



移動教室に思う

校長 野田 豊

いよいよ一学期の最終月、7月となりました。うっとうしい梅雨空が続いたかと思うと真夏のような強い日差しが照りつける猛暑の日があるなど、このところの陽気は安定せず体調管理に苦労する今日この頃です。日本列島の西から徐々に梅雨明け宣言が出され、本格的な夏の到来が待ち遠しく感じます。

5月の末に実施した6年生の軽井沢移動教室を皮切りに、6月はあさひ学級の岩井宿泊学習、5年生の下田移動教室と宿泊行事が目白押しでした。この宿泊行事では、東京を離れ自然豊かな環境の下で、仲間と寝食を共にして集団生活のマナーやルールを体で学んだり、体験型プログラムや普段接することのない動植物に触れたりするなどして、貴重な学びの機会となっています。それとともに、小学校での忘れ得ぬたくさんの思い出作りの場にもなっています。実際、6年生の卒業文集の題材では、移動教室のことが圧倒的に多く、いかに子供の心に強く残る行事であるかを物語っています。

さて、ここで5月に行われた6年生の移動教室の様子に少し触れてみたいと思います。6年生は3泊4日と長丁場で、取り組む体験や見学などのイベントの数も多いことや、共同生活の時間が長くなることなどから、それだけ自分以外の周囲の人に気を配ることが求められます。私は、出発式の折に「自分のことよりも他の仲間のことを優先して考えて行動する、つまり、お先にどうぞの心配りができることが集団生活を気持ちよく送る秘訣です。そして、そのような親切を受けたら素直にありがとうと感謝の気持ちを言葉にしましょう。」という話をしました。私の意図が子供たちにどのくらい浸透したかは定かではありませんが、移動教室の期間中、随所で優しい言葉や心配りが感じられる子供たちの言動に数多く出会い、大変うれしい思いをしました。こうした行為は、日常の学校生活や家庭生活の中でも発揮して欲しいのですが、中々難しいものがあります。移動教室という非日常の空間だからこそ意欲も湧き、前向きな気持ちで行動できるのかもしれませんが、たった数日間の移動教室ですが、子供にとっては数ヶ月にも匹敵する学びの機会になっているのではないかなと感じてなりません。

帰校し、解散式に臨んだ子供たちの顔からは、長旅の疲労感と共に充実感、満足感が感じられ、6年生らしいとてもよい表情が見て取れました。



平成30年度 7月行事予定

日	曜	学校行事
1	日	
2	月	振替休業日
3	火	安全指導 調理(あ)
4	水	専科成績提出 SC
5	木	都学力調査(5) ずもう教室(3) 5. 6校時 体育館 ALT
6	金	読書週間終
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会 委員会活動④ そろばん教室(4) 4h
10	火	ユニセフ募金① 調理(あ) そろばん教室(4) 2h
11	水	ユニセフ募金② 交流音楽(あ. 1) 避難訓練(不審者対応)④ 13:40~14:10 学力補充教室 14:30~15:15 SC
12	木	特別時程 通知表下書き提出 ALT
13	金	パワーアップ さるの話(5. 6) 5・6校時 通室終(え)
14	土	土曜時程 学校公開 道徳授業地区公開講座(3. 4校時)
15	日	ともしび青年学級(特支棟・プール) * 雨天時体育館使用
16	月	海の日
17	火	パワーアップ 保護者会(低: 13:40~、高: 14:50~) 調理(あ) 通知表提出
18	水	パワーアップ 交流音楽(あ. 2) 着衣泳(3. 4年. あ)
19	木	特別時程 ALT
20	金	終業式 給食終
21	土	合同学習(き) 通級終
22	日	
23	月	
24	火	夏季水泳指導①
25	水	夏季水泳指導②
26	木	夏季水泳指導③
27	金	夏季水泳指導④
28	土	
29	日	
30	月	夏季水泳指導⑤
31	火	夏季水泳指導⑥

あ(読書週間(5.6))

道徳授業地区公開講座

日時：7月14日(土)
3校時(10:25~)
全学級道徳授業公開
4校時(11:15~)
講演会(授業公開は無し)

場所：3校時 各学級
4校時 会議室

講師：齋藤 信子氏
(練馬区豊玉保険相談所 栄養担当)

演題：「ねりまの家族の健康を応援します」
~ 次の世代に伝えたい野菜たっぷりの
健康的な食生活 ~

多くの保護者の方のご参加をお待ちしております。

さるの話

7月13日(金)の5・6校時に国立科学博物館研究員で主にマレーシアのオラウータンの研究をしている「久世濃子先生」が5・6年生の子供たちに向けて、霊長類・さるの話をしていただきます。

今年度、武蔵大学で日本霊長類学会が開催されます。そこで、久世先生が地域の小学校でワークショップを実施してくれることになり、今回旭丘小学校へ来て頂けることになりました。

研究者の方の話を聞くことで、生物の進化について興味をもち、人間に一番近い動物であるさるについて、深く学んでほしいと思います。

着衣泳

本校では毎年3・4年生を対象に着衣泳の学習を行っています。

水の事故が起きないことが第一ですが、万が一事故に遭った場合でも、慌てずに対処できるようにすることがねらいです。

そのため、「着衣泳」という表記になっていますが、実際には泳ぐのではなく、いかに体力を使わずに長い時間浮いていられるか、ということが学習の中心になります。

衣服を着て水に入ることが、子供たちにとって、思った以上に難しいということを実感してもらい、安全についてより一層高い意識をもってもらえるようにしていきます。

夏季休業前のこの時期に着衣泳の学習を行うことで、命の尊さを実感し、自分の命をしっかり守ることの大切さを学ばせたいと思います。

